

特例社団法人 日本小児保健協会  
平成 21 年度 秋季総会議事録

日時：平成 21 年 10 月 30 日（金）11：30～12：00

会場：大阪国際会議場

《総会の成立》

社員総数 211 名（理事 25 名・代議員 187 名）に対し、出席者数 132 名（うち委任状 106 通）であり、本総会は成立した。

《議長・議事録署名人選任》

議長に大藪恵一会頭を選任し、議事録署名人に福永慶隆・前田美穂（東京都）両氏を選任した。

《議 事》

1. 平成 21 年度人事・事業実施報告

\*平成 21 年度人事・事業実施状況に関して福永慶隆理事より報告があり承認された。

(1) 会員数

	平成 20 年 3 月 31 日	平成 21 年 3 月 31 日	平成 21 年 9 月 30 日
会 員	4,962 名	4,865 名	5,015 名
	正会員 4,633 名 (内入会数 380 名)	正会員 4,563 名 (内入会数 276 名)	正会員 4,697 名 (内入会数 324 名)
	団 体 329 団体	団 体 302 団体	団 体 318 団体
賛助会員	16 社	15 社	15 社

(2) 人事について

1) 支部長交代

(支部)	(旧)	(新)
富 山	摂津 浩二 (セツ コウジ)	本間 一正 (ホンマ カズマサ)
三 重	多喜 紀雄 (タキ ミチオ)	庵原 俊昭 (イハラ トシアキ)
奈 良	吉岡 章 (ヨシカ アキラ)	嶋 緑倫 (シマ ミドリ)
山 口	古川 漸 (フルカワ スム)	市山 高志 (イチヤマ タカシ)

(敬称略)

## 2) 訃報

該当者なし

## (3) 役員会などの開催

理事会 1 回、支部長会 1 回、常任理事会 3 回、編集委員会 3 回、予防接種・感染症委員会 3 回、小児救急の社会的サポートに関する委員会 1 回、学校保健委員会 3 回、チャイルドシート検討委員会 1 回、平成 22 年度幼児健康度調査小委員会 2 回を開催し本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営している。

## (4) 平成 21 年度春季総会

平成 21 年 4 月 17 日(金)、奈良県立婦人会館において、春季総会が開催された。社員総数 212 名(理事 25 名、代議員 187 名)出席者数 163 名(うち委任状 112 通)であり、総会は成立した。議長に渡辺 博氏、議事録署名人に齋藤麗子(東京都)・服部益治(兵庫県)両氏を選任し開会した。

下記の議案が承認された。

- 1) 平成 20 年度事業報告
- 2) 平成 20 年度収支決算および監査報告

## (5) 日本小児保健学会の開催

第 56 回日本小児保健学会は、大阪大学大学院医学系研究科小児科学 大藪恵一教授を会頭として、平成 21 年 10 月 29 日(木)・30 日(金)・31 日(土)の 3 日間。大阪国際会議場(大阪)に於いて開催。

テーマ:「すくすく育て、こころとからだ」

## (6) 機関誌等の刊行

- ・「小児保健研究」現在 68 巻 5 号まで発刊した。
- ・小児保健シリーズ No. 63 「小児保健ネットワーク」を刊行した。  
(小児保健研究 68 巻 4 号に同封)
- ・小児保健シリーズ No. 64 「乳幼児健診とその周辺、いま知っておきたいこと」を刊行した。(小児保健研究 68 巻 5 号に同封)

## (7) 講演会等の開催

- 1) 支部研修会開催助成
  - ・「平成 21 年度岩手県小児保健研修会」
  - ・「平成 21 年度徳島県小児保健研修会」
  - ・「第 20 回石川県小児保健学会および研修会」

- ・「平成 21 年度栃木県小児保健協会総会・研修会」
  - ・「秋田県小児アレルギーフォーラム 2009」
  - ・「母子保健研修会」(山梨県小児保健協会)
- 2) DENVER II—デンバー発達判定法—判定技術養成講習会を平成 21 年 5 月 2 日(土)に国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて開催した。  
(参加者：50 名)

(8) 小児保健セミナーの開催

- 1) 第 26 回小児保健セミナー「乳幼児健診とその周辺、いま知っておきたいこと」を平成 21 年 6 月 21 日(日)に国立成育医療センター講堂に於いて開催した。  
(参加者：246 名)

(9) 協会活動

- 1) 編集委員会、予防接種・感染症委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、チャイルドシート検討委員会、平成 22 年度幼児健康度調査委員会のそれぞれが本協会の目的のために活動している。
- 2) スマトラ島沖地震へ義援金を拠出した。
- 3) チャイルドシート啓発活動：第 16 回日本家族看護学会学術集会ランチョンセミナー  
日時：平成 21 年 9 月 6 日(日)  
会場：高山市民会館  
テーマ：「家族の傷害予防とチャイルドシート」  
講演：服部益治(兵庫医科大学小児科)  
          デビット中林(NPO 法人チャイルドセーフティ)  
          座長：大西文子(藤田保健衛生大学医療科学部)

(10) 日本小児科連絡協議会

日本小児科学会・日本小児科医会(日本小児科連絡協議会)との合同で、日本小児科連絡協議会 3 回、合同委員会：「子どもをタバコの害から守る」合同委員会 2 回、自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 2 回、子育て支援ハンドブック(仮称)編集委員会 1 回を開催し、目的に沿った活動を行っている。

**2. 平成 22 年度事業計画案(案)**

\*各担当常任理事より報告がなされた

(1) 日本小児保健学会開催(福永慶隆理事)

第 57 回日本小児保健学会は、新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野 内山 聖

教授を会頭として、平成 22 年 9 月 16 日(木)・17 日(金)・18 日(土)の 3 日間。朱鷺メッセ(新潟)に於いて開催する。

テーマ:「子ども達の未来を信じよう、そして、子ども達が夢を持てる社会に」

(2)「小児保健研究」を年内に 6 冊刊行する。また、小児保健シリーズを 1 冊以上刊行し、支部活動等に役立てる。(小板橋靖理事)

(3) 講演会等の開催 (高橋孝雄理事)

1) 支部研修会開催助成

(4) 教育普及の拡充 (高橋孝雄理事)

協会の事業として教育普及の拡充につとめる。

第 27 回小児保健セミナーは、平成 22 年 6 月 20 日(日)に開催する。

テーマ「未定」、会場「国立成育医療センター講堂」。

(5) 協会活動の充実 (大西文子理事)

協会活動助成(研究助成・実践活動助成)授賞者の決定および表彰を行う。

本協会の目的に役立つ事業の実施につとめる。

### 3. 平成 22 年度収支予算案

\*財務担当 五十嵐 隆理事より平成 22 年度収支予算案が別紙の如く提案され、承認された。(会議資料 P.6)

### 4. 協会活動助成について (大西文子理事)

\*平成 21 年度小児保健協会活動助成が下記の通り決定した。

《研究助成》

○本郷 実 氏(信州大学医学部保健学科)

「中学生の生活習慣病調査研究と社会的取り組み」

《実践活動助成》

○関 秀俊 氏(金沢医学部保健学科)

「NPO 法人 子どもの虐待防止ネットワーク石川(CAPNET 石川)」

○中川恒夫 氏(子どもをタバコから守る会・愛知 世話人代表)

「愛知県内の遊園地、公園等の脱タバコ対策に関する継続調査」

### 5. 平成 21 年度名誉会員の推薦 (福永慶隆理事)

\*下記5氏が承認され、推薦された。

東京都 村上 睦美 (ムラカミ ムツミ)  
石川県 佐藤 保 (サトウ タモツ)  
石川県 右田 俊 (ミギタ トシ)  
石川県 兼松 謙三 (カネマツ ケンゾウ)  
島根県 飯塚 雄哉 (イヅカ ユウヤ)

(敬称略)

## 6. 第58回(平成23年)日本小児保健学会会頭選任 (福永慶隆理事)

\*第58回(平成23年)日本小児保健学会会頭として大西文子教授が推薦され承認された。

\*大西会頭より開催計画が紹介された。

会頭：藤田保健衛生大学医療科学部看護学科小児看護学 大西文子教授

日程：平成23年9月1日(木) 2日(金) 3日(土)

会場：名古屋国際会議場

仮テーマ：「地域で暮らす子どもと家族にできること！」

～継続看護を含めた家族看護の立場から、学校保健を中心とした小児保健の立場から～

## 7. 支部活動 (大西文子理事)

1) 全国47支部は、研修会の開催、機関誌の発行等を行っている。

(平成20年度支部活動は、小児保健研究第68巻4号P.498-512を参照)

## 9. 次期代議員・理事選任 (衛藤 隆会長)

\*衛藤 隆会長より次期代議員・理事が提案され、承認された。(会議資料P7・8)

(次期会長選任のため総会を一時中断し、別室に移動)

## 8. 第57回(平成22年)日本小児保健学会会頭挨拶

\*第57回(平成22年)日本小児保健学会会頭内山 聖教授より開催概要が紹介され、多数の参加を要請された。

## 10. 新会長挨拶

\*新会長、衛藤 隆氏より就任の挨拶が行われた。

## 11. 新監事選任

\*監事2名退任のため、後任を選出した。

柳澤正義氏・鈴木順造氏が推薦され、承認された。

## 12. その他

- (1) 各委員会の委員の任期・理事の任期が異なり、整合性がとれてないことについて質問があり、会長より説明がなされ、今後検討することとなった。
- (2) 代議員会が機能していないとの意見があり、会長より説明がなされ、今後検討することとなった。

平成 21 年 11 月 24 日  
特例社団法人 日本小児保健協会

議 長 大 藪 恵 一 ㊞

議事録署名人 福永慶隆 ㊞

議事録署名人 前田美穂 ㊞